

年長児の保護者の皆様へ

—ポリオ予防をより確かに—

**就学前**の



**お子様にワクチンの  
5回目接種を**



# ポリオ感染のリスクは、 まだ存在しています



国内では、1981年以降野生株のポリオウイルスによるポリオ患者は報告されていませんが、一部の国ではいまだにポリオの発症が報告されています。感染は国境を越えて広がるケースもあり、旅行者などがウイルスを日本に持ち込むリスクもあります。

## ● ポリオ発生国 (2019年)

### 野生株ポリオウイルス<sup>1)</sup>



アフガニスタン



パキスタン



ナイジェリア

### ワクチン由来株ポリオウイルス<sup>1)</sup>



パプア  
ニューギニア



インドネシア



ソマリア



コンゴ  
民主共和国



モザンビーク



ナイジェリア



ニジェール



ミャンマー



アンゴラ



ベナン



カメルーン



中央アフリカ  
共和国



中国



エチオピア



ガーナ



フィリピン

ポリオ発生国：国際的な感染拡大のリスクがある国

1) WHO, Newsroom, WHO Statements. 3 October 2019

(2019年11月26日アクセス：<https://www.who.int/news-room/detail/03-10-2019-statement-of-the-twenty-second-ihc-emergency-committee-regarding-the-international-spread-of-poliovirus>)

# ポリオは、有効な治療法がない病気です



ポリオは重症な場合、  
手足の“まひ”などを引き起こします。  
呼吸不全で死亡することもあります。



いったん起こった“まひ”は回復しない場合も  
多く、後遺症につながります。



有効な治療法がなく、  
ワクチン接種が唯一の予防法です。

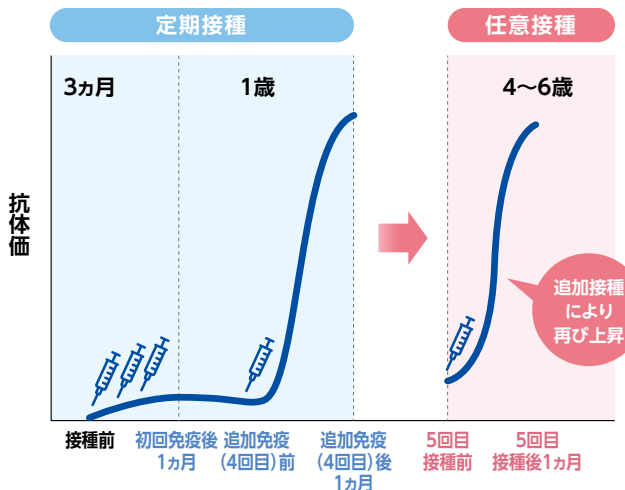


ポリオの後遺症により  
足に“まひ”が残った幼児

## 5回目の接種で、 低下した抗体価が再び上昇します



- 不活化ポリオワクチンは、現在4種混合ワクチンに含まれ、定期接種で4回目接種までは行われています。
  - しかしながら、接種から時間が経つと、抗体価が徐々に低下し<sup>1)</sup>、再びポリオ発症のリスクにさらされます。
  - この抗体価は、5回目接種により高く維持することができます<sup>2)</sup>。
- 不活化ポリオワクチン接種と抗体価の変化(イメージ図)<sup>3)</sup>



1) 佐々木 津 他：小児科臨床 68(8)：1557-1567, 2015

2) Voysey M, et al. Vaccine 34(35)：4221-4228, 2016

3) もっと知りたいポリオ

(2019年11月26日アクセス：<http://www.vaccine-net.jp/prevention/prevention.html>)

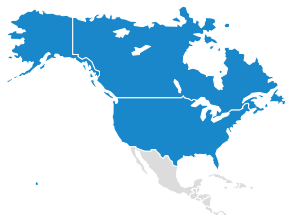
# 欧米諸国では、小学校入学前に追加接種が実施されています



## ● ヨーロッパ



## ● 北米



## ● 東アジア



## ● オセアニア



■ 4歳以上での追加接種実施国\*

■ 4歳以上での追加接種非実施国\*

(英国：3歳4ヵ月以上で追加接種)

\* OECD加盟国(メキシコ、チリ、トルコを除く)

European Centre for Disease Prevention and Control, Vaccine Schedule  
(2019年11月26日アクセス：<http://vaccine-schedule.ecdc.europa.eu/Pages/Scheduler.aspx>)

World Health Organization, WHO vaccine-preventable diseases:  
monitoring system. 2019 global summary  
(2019年11月26日アクセス：[http://apps.who.int/immunization\\_monitoring/globalsummary/schedules](http://apps.who.int/immunization_monitoring/globalsummary/schedules))

国立感染症研究所 日本の定期予防接種スケジュール  
(2019年11月26日アクセス：[https://www.niid.go.jp/niid/images/vaccine/schedule/2018/JP20180401\\_01.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/vaccine/schedule/2018/JP20180401_01.pdf))  
より作図

詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

# 4～6歳での予防接種スケジュール

(2018年8月1日版 日本小児科学会)



ワクチン	種類	幼児期		学童期/思春期
		4歳	5歳	6歳
3種混合(DPT)	不活化		⑤ (注7)	
ポリオ(IPV)	不活化		⑤ (注9)	
麻疹、風しん(MR)	生		② (注10)	
おたふくかぜ	生		② (注12)	
日本脳炎	不活化	③		(7.5歳まで)
インフルエンザ	不活化	毎年(10月、11月などに) ① ② (注13)		

定期接種の  
推奨期間

任意接種の  
推奨期間

添付文書には記載されていないが、  
小児科学会として推奨する期間

定期接種の  
接種可能な期間

任意接種の  
接種可能な期間

(注7) 就学前児の百日咳抗体価が低下していることを受けて、就学前の追加接種を推奨

(注9) ポリオに対する抗体価が減衰する前に就学前の接種を推奨

(注10) 小学校入学前の1年間

(注12) 予防効果を確実にするために、2回接種が必要である。①は1歳を過ぎたら早期に接種、

②はMRと同時期(5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間)での接種を推奨する

(注13) ①-②は4週(2-4週)あける。13歳未満は2回接種

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール(2018年8月1日版)

(2019年11月26日アクセス: [http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine\\_schedule.pdf](http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine_schedule.pdf))より抜粋、一部改変

サノフィ株式会社

〒163-1488

東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

もっと知りたい/  
ポリオ

<http://vaccine-net.jp>



2019年12月作成  
SPJP.IPV.19.12.0279

SANOPI PASTEUR